

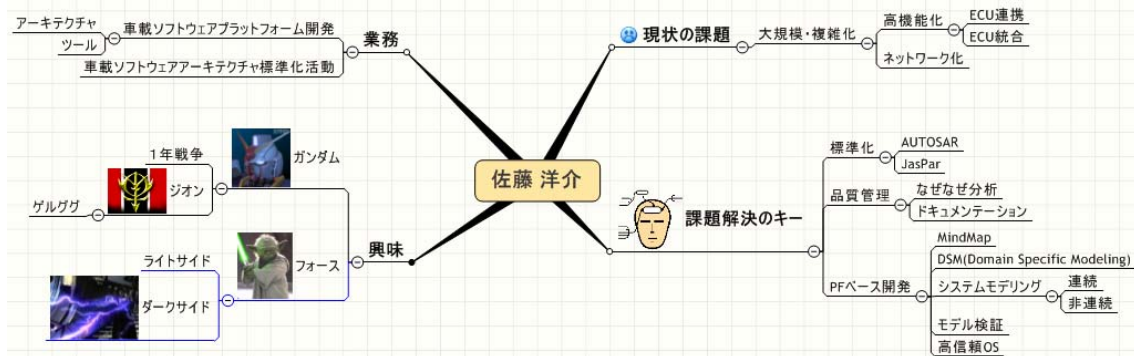
組込みソフトウェア開発の課題

(株) デンソー

電子プラットフォーム開発部 第2 開発室

佐藤 洋介(Yohsuke SATOH)

1. 自己紹介



2. プロフィール

現在、車載ソフトウェアプラットフォーム開発に従事。会社外では、SWESTプログラム委員長、ET ロボコン東海地区モデル審査委員長として活動中。

ソフトウェアの抽象化に特に関心があり、最終的には組込みソフトエンジニアの地位向上と産学連携に貢献したいと思っています。現在、システムズエンジニアリングや DSM、Feature/Variant モデリングを研究中です。最近の関心事はイージスシステムとセンサネットワークです。

3. 議論したいこと

ここ数年、組込みソフトウェアはますます大規模・複雑化しており、特にシステム内のネットワーク化（車載 LAN など）やシステム外インフラへの接続（インターネットなど）などの外的要因があった分野は特にその傾向が顕著に表われています。組込みシステム開発に関わる組織では、大規模・複雑化した組込みソフトウェアをいかに管理し、開発・保守を行っていくかが大きな課題になっています。この課題を解決するため、AUTOSAR、JasPar などの活動に代表されるように、組込みソフトウェアアーキテクチャを標準化する活動が最近活発化しています。

SWEST では、皆さんと、現状のボトムアップ的な摺り合わせ開発が主流の開発体制から、プラットフォームベース開発へ移行する場合の課題を議論できたらと考えています。また、要素技術に関しても、DSM, システムモデリング, モデル検証, 高信頼 OS などなど、幅広く情報交換したいと考えています。